

# III 警 防 編



## 1 消防力の現況（平成25年12月末日）

### （1）消防職員の現況

区 分	消 防 本 部	中 央 署	西 署	合 計
警 防 要 員		117	39	156
救 急 要 員		33	12	45
警 防 ・ 救 急 要 員			75	75
予 防 要 員	12	4	2	18
そ の 他 の 要 員	36	1	2	39
合 計	48	155	130	333

### （2）消防団員の現況

区 分	警 防 要 員	本 部 要 員	合 計
釧 路 市 消 防 団	451	6	457

### （3）消防水利（地域別消防水利施設現勢表）

地区	水利	公 設			
	消 火 栓	防 火 水 槽 (40m <sup>3</sup> 級)	耐 震 性 貯 水 槽 (100m <sup>3</sup> 級)	指 定 水 利	計
大 楽 毛	197	11			208
鉄 西	254	33			287
白 糠	126	43			169
阿 寒	86	13			99
阿 寒 湖 温 泉	25	8		1	34
音 別	22	26			48
愛 国	151	31			182
鉄 北	227	35			262
橋 北	118	47	1	1	167
橋 南	315	87	1	3	406
春 採	149	31			180
白 樺	37	2			39
合 計	1,707	367	2	5	2,081



## (2) 出動計画

### ア 消防部隊出動計画

市街地における防火対象物の建ぺい率、構造率、年間平均風速、消防水利、消防車の走行速度等々、燃焼消火のエネルギー関係を科学的に分析し、次の基準で出動計画を決めている。

#### (ア) 火災出動計画

出動区分	出動台数	出動基準
第1出動	9台～10台	火災を覚知した時
第2出動	13台～14台	先着指揮官の要請又は異常気象時
第3出動	20台～22台	現場指揮官の要請
特命出動	必要台数	災害状況に応じて指揮官の要請

#### (イ) 救助救急出動計画

覚知時 3台～5台(救急車含む)

特命出動 必要数

#### (ウ) 警戒出動計画

覚知時 1台～2台

### イ 非常災害時出動計画

地震災害時、烈風時火災、豪雪時火災、水災等、それぞれの災害を分析し釧路市消防警防規程及び釧路市消防警防規程運用要綱を定め、消防部隊の強化を図っている。

### ウ 石油コンビナート等特別防災区域内出動計画

当市の石油貯蔵基地は石油コンビナート等災害防止法に基づき西港区域が特別防災区域として指定されており、北海道石油コンビナート等防災計画にのっとり、化学車等を基本に特別防災区域出動計画を定めている。

## (3) 災害活動に対する民間協力体制の確立

消防は隊員とこれが装備する資機材によって、各種災害に対応しなければならない。しかし、消防が有する装備と資機材のみによって対応しがたい場合があり、その対応策が強く望まれていた。

このような時に、市内の特殊資機材を有する民間企業が消防の行う活動に協力する目的をもって『釧路市救助協力会』が発足し、釧路市民を災害から守る防災対策が一層強化された。

ア 設立 昭和56年4月22日

イ 組織 6部会 30事業所

## (4) 林野火災及び大規模災害に対処する防災体制の確立

釧路市愛国191の1に『釧路市空中消火等補給基地』(ヘリコプター離着陸広場 12,830 m<sup>2</sup>、40 m<sup>3</sup>級貯水槽1基、資機材保管施設1棟、消火剤散布装置5基)が昭和61年11月29日に完成をみた。この基地完成により、湿原、山林火災の消火及び災害時の救助救急等防災対策が一層強化された。

### 3 火災・警戒出動概要

平成 25 年中の出動状況は 66 件の火災が発生し、車両延べ 497 台、職団員延べ 2,421 名が出動し消防活動を行った。その概要は次表のとおりである。

#### (1) 火災出動状況

区分 月	火災件数	出 動 台 数 ( 台 )			出 動 人 員 ( 名 )		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
1 月	7	41	8	49	174	86	260
2 月	8 (1)	57	16	73	212	135	347
3 月	5	43	10	53	168	85	253
4 月	9 (2)	44	10	54	151	80	231
5 月	4 (1)	26	4	30	116	31	147
6 月	6	30	6	36	116	55	171
7 月	3	15	2	17	54	16	70
8 月	5 (1)	38	11	49	178	113	291
9 月	2 (1)	11	2	13	40	19	59
10 月	4 (1)	25	8	33	92	51	143
11 月	7	33	6	39	129	58	187
12 月	6	43	8	51	178	84	262
合 計	66 (7)	406	91	497	1,608	813	2,421

※ ( ) は、白糠町の内数

#### (2) 過去 5 年間の火災出動状況の推移

区分 年	火災件数	出 動 台 数 ( 台 )			出 動 人 員 ( 名 )		
		消 防 署	消 防 団	計	消 防 署	消 防 団	計
平 成 21 年	76(10)	429	99	528	1,694	1,044	2,738
平 成 22 年	84(11)	457	96	553	1,874	1,015	2,889
平 成 23 年	79(15)	445	101	546	1,896	1,013	2,909
平 成 24 年	63(5)	375	80	455	1,460	770	2,230
平 成 25 年	66(7)	406	91	497	1,608	813	2,421

※ ( ) は、白糠町の内数

(3) 過去5年間の警戒出動状況及び推移

年区 分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
出 動 件 数	470 (39)	606 (74)	720 (85)	917 (102)	912 (104)
集合煙突	5 (1)	8 (1)	6 (1)	2	2
焚き火	2	8	4	7	6
電 柱					2
異常燃焼	8	9	6	11 (1)	9
油 関 係	85 (3)	82 (1)	104 (2)	106 (9)	112 (8)
ガス関係	5 (1)	6	12	6	6
自火報	57 (2)	64 (3)	54 (2)	95	65 (2)
漏電警報器	3	1	1	3 (1)	2
非常警報	4	1	5	12	8
緊急ボタン	2	14 (1)	10	17 (2)	18 (3)
危険排除	37	64 (1)	54 (4)	174 (14)	255 (18)
そ の 他	262 (32)	349 (67)	464 (76)	484 (75)	427 (73)
出 動 台 数	861 (66)	993 (105)	1,309 (165)	1,686 (204)	1,693 (203)
出 動 人 員	3,934 (269)	4,334 (459)	5,445 (629)	7,057 (797)	7,080 (757)

※ ( ) は、白糠町の内数

#### 4 救助出動概要

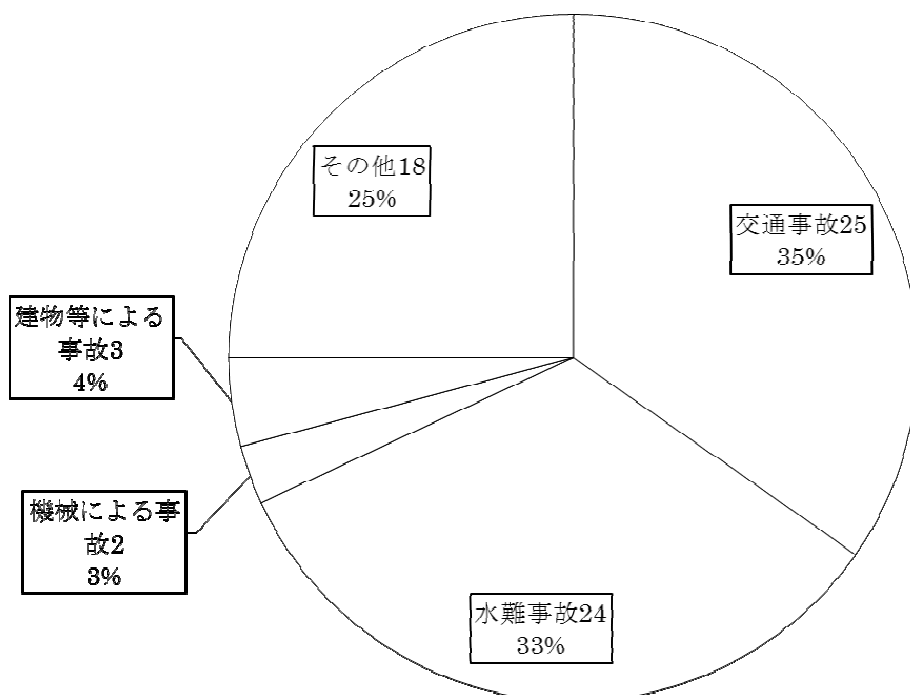
平成25年中の救助出動は72件発生し、車両延べ403台、人員延べ1,642名が出動し救助活動を行った。その概要は次表のとおりである。

##### (1) 前年比救助出動状況

分	年区	平成24年		平成25年	
		出動件数	救助人員	出動件数	救助人員
出 動 件 数		87 (7)	85 (13)	72 (5)	65 (3)
交 通 事 故		45 (4)	60 (12)	25 (4)	33 (3)
水 難 事 故		26 (3)	15 (1)	24 (1)	14
自 然 災 害					
機 械 に よ る 事 故		2	2	2	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故					
建 物 等 に よ る 事 故				3	3
爆 発 事 故					
そ の 他		14	8	18	13
出 動 台 数		438	(33)	403	(19)
出 動 人 員		1,833	(137)	1,642	(78)

※ ( ) は、白糠町の内数

##### (2) 事故種別救助出動状況





(3) 月別救助出動状況

区分 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
出 動 件 数	5	2	5	5	8	6	11	5	6	6	8	5	72
交 通 事 故	2	2	4		3	2	5			2	2	3	25
水 難 事 故				3	3	3	2	4	4	1	3	1	24
自 然 災 害													0
機 械 に よ る 事 故					1						1		2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故													0
建 物 等 に よ る 事 故			1	2									3
爆 発 事 故													0
そ の 他	3				1	1	4	1	2	3	2	1	18
出 動 台 数	40	6	24	26	37	33	59	34	28	36	48	32	403
出 動 人 員	216	28	87	94	146	114	229	134	95	149	194	156	1,642
救 出 人 員	6	1	4	4	8	5	13	5	1	6	7	5	65

(4) 署々別救助出動状況

区分 \ 署	中 央 消 防 署	西 消 防 署	合 計
出 動 件 数	41	31 (5)	72 (5)
交 通 事 故	12	13 (4)	25 (4)
水 難 事 故	14	10 (1)	24 (1)
自 然 災 害			
機 械 に よ る 事 故		2	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故			
建 物 等 に よ る 事 故	2	1	3
爆 発 事 故			
そ の 他	13	5	18
出 動 台 数	245	158 (19)	403 (19)
出 動 人 員	964	678 (78)	1,642 (78)
救 出 人 員	36	29 (3)	65 (3)

※ ( ) は、白糠町の内数

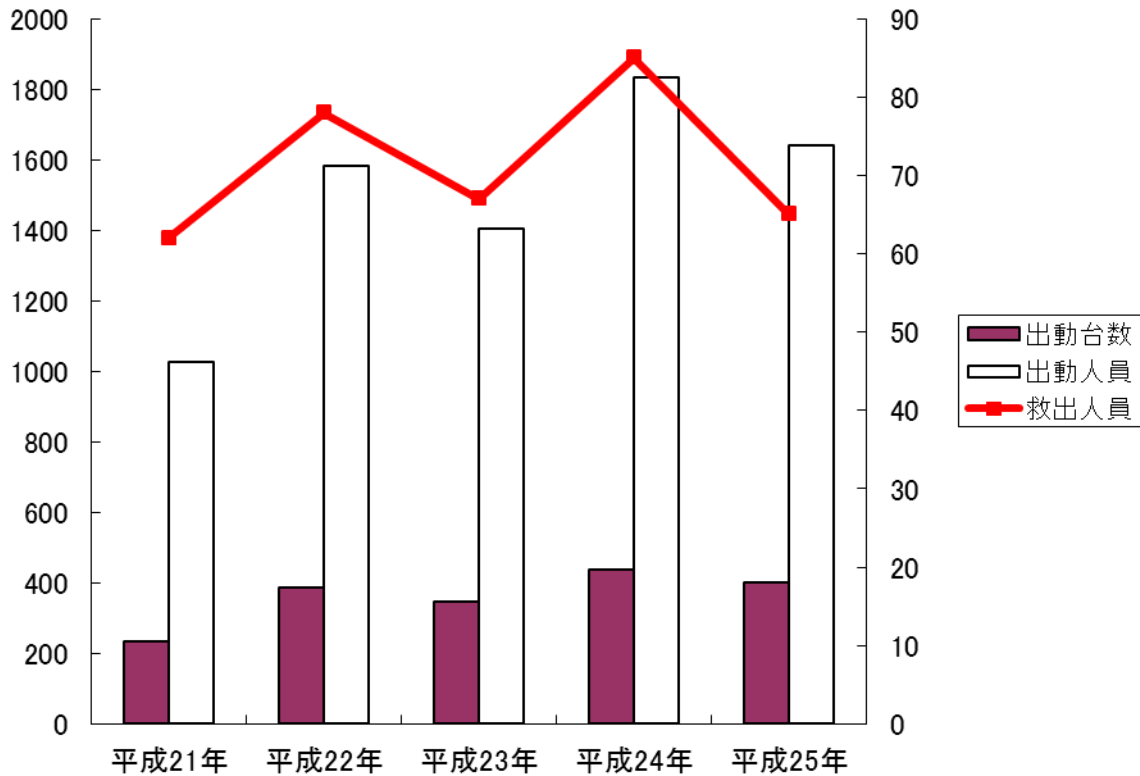
(5) 過去5年間の救助出動状況の推移

区分	年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
出 動 件 数		48 (4)	79 (8)	73 (5)	87 (7)	72 (5)
交 通 事 故		27 (3)	43 (6)	37 (4)	45 (4)	25 (4)
水 難 事 故		8	20 (1)	19	26 (3)	24 (1)
自 然 災 害						
機 械 に よ る 事 故		3 (1)	1	1	2	2
ガ ス 及 び 酸 欠 に よ る 事 故			1			
建 物 等 に よ る 事 故				1		3
爆 発 事 故						
そ の 他		10	14 (1)	15 (1)	14	18
出 動 台 数		233 (16)	388 (32)	346 (22)	438 (33)	403 (19)
出 動 人 員		1,026 (65)	1,582 (122)	1,405 (85)	1,833 (137)	1,642 (78)
救 出 人 員		62 (6)	78 (4)	67 (4)	85 (13)	65 (3)

※ ( ) は、白糠町の内数

出動台数  
出動人員

救出人員



## 5 消防通信

消防通信は、有線通信及び無線通信に大別され、それぞれの法令（有線電気通信法・電波法）に基づき運用されている。

### (1) 有線通信施設

区分	種別	施設数	適用	
有線電話	1 1 9 回線	4 回線	INS回線（一般・携帯・IP全て重畳） 同時8回線	
	一斉指令・署所端末回線	31 回線	音声指令15回線 指令電送15+1（大規模）回線	
	指令台用局線	2 回線	INS回線、同時4回線	
	順次指令用局線	2 回線	INS回線、同時4回線	
	孤立防止回線	2 回線	衛星回線（受信専用2）	
	I T 情報端末装置	1 回線	FTTH	
	一般	加入電話	27(2) 回線	本部・署・分署・支署 1～12分団（INS回線・電話・FAX）
		災害情報自動案内	1 回線	災害等案内（NTT側設備で100回線）
		内線電話	259(12) 回線	本部・署・分署・支署 1～12分団（NTT専用線）
		北海道総合行政情報ネットワーク専用電話	2(1) 回線	本部総務課・白糠支署

※ 市イントラ用光ファイバーを活用し、多重装置で実現（指令回線・指令電送・内線回線・OA回線等）

※ 白糠支署 DA128 回線で指令回線・指令電送・内線回線等に活用

※ ( ) 内は白糠支署内数

### (2) 無線通信施設

区分・種別	施設数	適用			
無線設備	基地局	デジタル	5(1) 局	20W（西消防署・中央消防署東分署・阿寒支署・阿寒湖温泉支署・音別支署・白糠支署） →移動局、受令機の災害指令	
		アナログ	2 局	緊急消防援助隊・航空機等用	
	簡易基地局	デジタル	1 局	10W（仁々志別小学校）→陸上移動局の通信	
	固定局	デジタル	3 局	東分署基地局用アプローチ回線	
		アナログ	1 局	緊急消防援助隊・航空機等用	
	陸上移動局	卓上固定型	デジタル	21(2) 局	5W→署・支署11局、分団10局
		可搬型	デジタル	2 局	
		車載	デジタル	96(16) 局	
			アナログ	9 局	緊急消防援助隊・航空機等用
	携帯	デジタル	117(18) 局		
アナログ		61(7) 局	緊急消防援助隊・航空機等用		
受令機	デジタル	14(1) 台	本部・各署・各支署		
その他	携帯電話		17(3) 台	警防課3台、予防課1台、通信指令課1台、救急隊4台、阿寒支署1台、阿寒湖温泉支署2台、音別支署1台、白糠支署3台、市立病院1台	
	衛星携帯電話		5(1) 台	警防課1台、救急隊4台（阿寒・阿寒湖温泉・音別・白糠支署に各1台）	

※ ( ) 内の数字は白糠支署内数

(3) 無線チャンネル系統

		チャンネル						
緊急 通 信	一般	消防用	活動波 1	活動波 2				
		救急用	活動波 3	活動波 4				
	災害	情報用	活動波 5					
		指令用	活動波 6					
	大規模非常災害	消防用	活動波 1	活動波 2	活動波 3			
		救急用	活動波 6	活動波 4				
情報用		活動波 5						
共通波	主運用波 4 (北海道)	統制波 1 統制波 2 統制波 3	アナログ波	<table border="1"> <tr> <td>全国共通波 1</td> <td rowspan="3">平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。</td> </tr> <tr> <td>全国共通波 2</td> </tr> <tr> <td>全国共通波 3</td> </tr> </table>	全国共通波 1	平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。	全国共通波 2	全国共通波 3
全国共通波 1	平成28年5月31日までの間において、緊急消防援助隊及び航空機等（防災ヘリ、ドクターヘリ）との情報連絡用に使用する。							
全国共通波 2								
全国共通波 3								

(4) 災害通報等受付件数

項目	火災	警戒	救助	救急	その他	合計
119番受付	79 (10)	558 (65)	41 (3)	8,573 (469)	6,849 (212)	16,100 (759)
119FAX	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
加入電話受付	8 (0)	237 (23)	13 (0)	207 (13)	23 (2)	488 (38)
警察電話受付	4 (0)	33 (5)	14 (2)	63 (1)	2 (1)	116 (9)
無線受付	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)
駆け付け通報	0 (0)	4 (0)	0 (0)	20 (8)	1 (0)	25 (8)
その他	1 (0)	61 (14)	1 (0)	71 (2)	288 (17)	422 (33)
合計	92 (10)	893 (107)	69 (5)	8,934 (493)	注 7,164 (232)	17,152 (847)

※ 各項目下段 ( ) 内の数値は、白糠町の件数で上段の内数

注 合計欄その他の内訳

項目	問合せ	訓練	試験	誤報	いたずら	携帯転送	その他	合計
件数	835	1,401	1,895	924	137	38	1,934	7,164

※ 災害通報等受付件数は、実災害件数とは異なります。(消防隊と救急隊が同時出動する火災、救助及び警戒出動は救急隊が出動していても救急受付件数には含まず、それぞれの災害項目に計上されます。)

## 6 研修及び訓練実施状況（平成25年実績）

### （1）研修

項 目		対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間
資格取得		大型自動車運転免許取得	4回	4人
		無線従事者免許取得	1回	4人
		潜水土資格取得	1回	2人
派 遣	病 院 実 習	救急救命士資格者	205回	50人
	消防学校	初任教育前期	142日間	6人
		初任教育後期	149日間	6人
		専科教育救急科	49日間	7人
		専科教育火災調査科	16日間	1人
		気管挿管再認定講習	1日間	8人
		薬剤投与講習	37日間	6人
	消防大学	専科教育警防科	50日間	1人
		違反是正特別講習	5日間	1人
	市職員研修		釧路市職員研修計画による	8回
新規採用職員研修		平成25年度採用職員	16回	9人
専科研修		上級救命講習	1回	9人
		水難救助特別教育	1回	2人
		予防課程	32回	147人
特別研修		消防職員意見発表会	1回	5件
		消防職団員研究発表会	1回	4件
係 別 研 修	消 防 隊 研 修	中央消防署	492回	595時間
		西消防署	380回	469時間
	救 助 隊 研 修	中央消防署	274回	405時間
		西消防署	91回	114時間
	救 急 隊 研 修	救急資格者研修	774回	1,810時間

## (2) 訓練

種 別	項 目	対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間	
本 部 訓 練	演 習	春 季 消 防 演 習	観閲	1 回	26 台 480 人
		秋 季 消 防 演 習	慰霊祭・団競技大会	1 回	26 台 480 人
		釧 路 市 防 災 総 合 訓 練	9月10日	1 回	25 人
	各 種 訓 練	救 助 隊 員 養 成 訓 練	指定された隊員	28 日間	43 人
		消 防 活 動 技 能 訓 練	指定された隊員	45 日間	66 人
		救 助 技 術 訓 練 指 導 会 訓 練	指定された隊員	11 月～8 月	6 人
警 防 技 術 訓 練		指定された隊員	17 日間	67 人	
救 急 隊 員 訓 練		指定された隊員	13 日間	32 人	
所 属 訓 練	係 別	消 防 隊 訓 練	中央消防署	1,654 回	2,175 時間
			西消防署	2,052 回	2,456 時間
	専 科	救 助 隊 訓 練	中央消防署	1,433 回	2,167 時間
			西消防署	461 回	565 時間
		救 急 隊 訓 練	救急資格者研修	1,262 回	1,457 時間

## (3) 消防団

種 別	項 目	対 象 及 び 内 容	期 間・回 数	人 員・時 間	
研 修 訓 練	資 格 取 得	自動車運転免許(大型・中型)取得	1 回	5 人	
		特 別 研 修	女性消防団員研修	1 回	31 人
	機関教養		2 回	31 人	
	予防教養		29 回	241 人	
	幹部教養				
	視 察 研 修	消防団員技能競技大会視察	1 回	18 人	
		北 海 道 消 防 学 校 入 校	消防団員基礎教育	1 回	1 人
			消防団員幹部教育	1 回	1 人
	競 技 大 会	釧 路 市 消 防 団 員	ポンプ自動車・小型ポンプ		
		北 海 道 消 防 協 会 釧 路 地 方 支 部 消 防 団 員 技 能 競 技 大 会	釧路市 (9月11日)	7ヶ分団	75 人
			ポンプ自動車・小型ポンプ		
	規 律 訓 練	防 ぎ よ 訓 練	訓練礼式	18 回	399 人
競技訓練			128 回	885 人	
		署・団合同訓練	17 回	170 人	